



2019年8月19日

### 先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は一週間を通して見ると横ばいの推移となりました。

アルゼンチン大統領予備選挙にて野党候補が現職のマクリ大統領に大差をつけて圧勝したことで、アルゼンチンがポピュリズム（大衆迎合主義）に逆戻りするとの懸念が広まりました。アルゼンチン・ペソ安に連れて新興国通貨全般が売られたことでブラジル・レアルは下落しました。

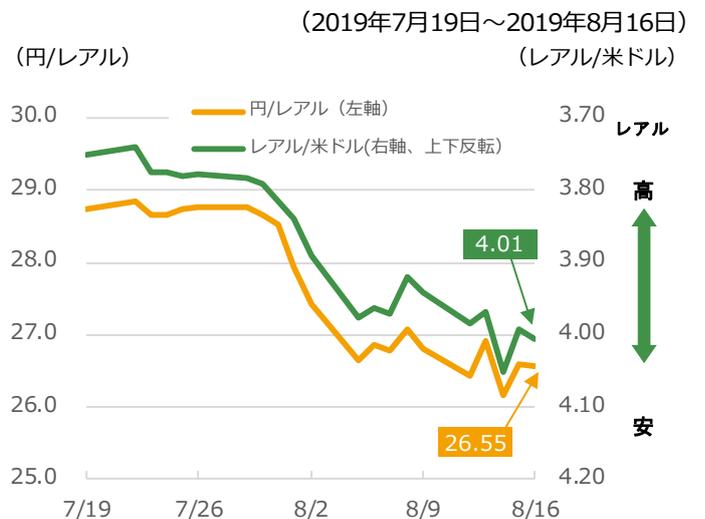
経済指標に関しては、6月の経済活動指数などが発表されました。GDP（国内総生産）成長率の先行指数である経済活動指数は、前月比で予想を上回る上昇となりましたが、第2四半期を通して見ると小幅なマイナスとなりました。仮に第2四半期のGDP成長率がマイナスとなると、ブラジル経済はテクニカルリセッションに陥るため、8月末頃に発表されるGDP成長率、今後の経済活性化政策に注目したいと思います。

### 今週の見通し

今週は各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

ブラジル金融市場は引き続き外部要因に左右される展開が続くそうです。特にアルゼンチンの動向については、ボルソナロ大統領やゲデス経済相がメルコスール（南米共同市場）とEU（欧州連合）の自由貿易協定締結への悪影響について言及しており、ブラジル経済にも影響を与えうると考えられるため、今後の動向を注視したいと思います。

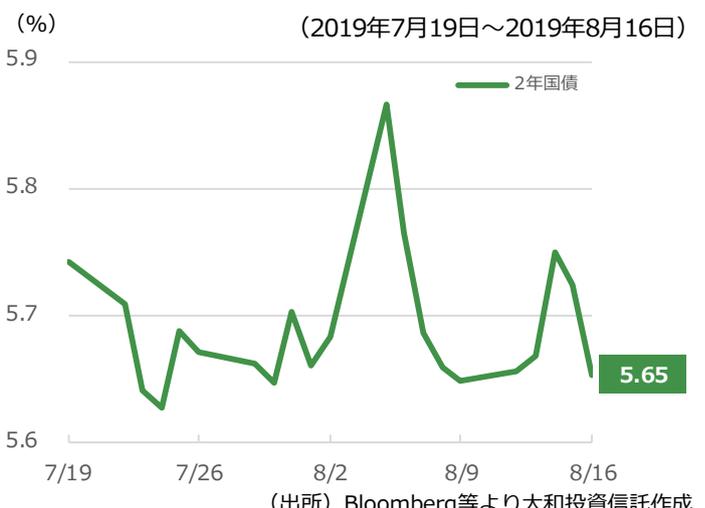
### ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。